

「地域の福祉ボランティア活動に
参加しませんか」

浅生地区社会福祉協議会 会長 松本昭則

浅生地区では、民生委員・児童委員や自治協議会会長を含め、60名を超える皆さんが福祉協力員として地域の福祉ボランティア活動に取り組んでいます。

昨年11月に開催された新任福祉協力員研修で、参加者から福祉ボランティアとして具体的にどのような活動をしたらいいかわからないという声がありました。

福祉ボランティアは誰から強制されるものでもありません。自発的に各人の持っている力を地域の福祉に役立てる活動です。人それぞれに知識や経験、取り組める時間的な条件は一律ではないし、また、地域の高齢者等の抱えている問題やニーズも様々です。いつどこで何をどれだけしなければならぬという決まったものではありません。

区社協の福田会長のあいさつに「福祉ボランティアは、できる人ができるときにできることを」という言葉がありました。まわりに気配りをし、小さなことでも他人の幸せのため自分ができることをする。という志が一番大切だと思います。浅生社協では、福祉協力員としてボランティアに参加できる人を求めています。あなたも一緒に活動しませんか。

「福祉の町づくり講座」
福祉協力員研修

令和元年度の「ふくしの町づくり講座」として三回にわたって「安全・安心な浅生の町をめざして!!」みんなで研修を行いました。

- まず「浅生の町の良いところは?」
- ・生活が便利である(役所・図書館・交通)
 - ・町が美しい(建物・花だん・樹木)
- 中には

・若戸大橋の夕方のライトアップや夜景が美しい……。
これには全員賛同しきり。この講座を通して浅生地区を再発見した方が多かったです。

「安心な暮らしのお手伝いとはどんな事?」
「安全な暮らしのために私たちにできる事は?」
課題はまだまだ山積みですが、グループや全員で活発に意見が出しあえる会だった事が今後につながる有意義な講座でした。



～サロンだより～

すこやかサロン (市民センター)

2月15日(土)上松康高さんによる「電子オルガンの演奏」を楽しみました。心地よいクラシックのメロディー、懐かしい唱歌、ナツメロなど、演奏に合わせてみんなで歌いました。イントロあてクイズでは、同じ人が何曲も当てたりして、皆、必死で頑張りました。今回は50名以上の参加者があり、にぎやかなサロンでした。



なの花サロン

(マンションの集会室)

9年前に、10名ぐらいのマンションの住人で立ち上げたサロンです。講師は若い男性のボランティア。全員、先生の元気をもらっています。内容は脳トレとストレッチを1時間余り。その後は、お茶を飲みながらの情報交換や昔話タイム。同じマンションでも声をかける事が少なかったのですが、今では1年に1回、お食事をしたり、花見に行ったりして楽しいです。



ひまわりサロン

(マンションの集会室)

5年前、第1回目のサロンに9名の参加者で始まりました。内容は、30分のひまわり太極拳(タイチー)と30分のストレッチ体操。マンション在住の先生にボランティアで指導して頂いています。参加者は10名ほどの昔のギャル。残念ながら男性は1名。(ガンバレ!!)サロンの他にもセンターの楽しい行事にも団体で参加したりして団結力もアップ中。楽しいお話、楽しい笑顔、良い出会いに感謝!!です。これからも……。

新型コロナウイルス
感染予防対策を!!



— 北九州市保健福祉局 保健衛生課—
感染症対策の基本は「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。日常生活では、できるだけ人混みの多い場所を避ける。

- ①「手洗い」石けんをつけて、念入りに洗います。
- ②「3つの咳エチケット」・マスクを着用する
 - ・マスクがない時は、ティッシュ・ハンカチで口・鼻をおおう
 - ・とっさの時は、袖で口・鼻をおおう

〈どの程度 外出を控えるか〉 (NHKテレビより)

- ・屋外の運動でウイルスに感染することは少ない。
- ・適度な運動・バランスの良い食事・十分な睡眠で体力づくりが大事。

北九州マラソン
お疲れ様でした

2月16日(日)「北九州マラソン2020」が開催されました。朝からあいにくの雨模様。それでも1万人以上のランナーが雨具をまとい、たくさんの声援を受け快走しました。

途中、強い雨と風の中、沿道からの声援も「がんばれっ!」から「もう少しだけがんばって下さい!」に。そして最後の方は「大丈夫ですかあ!」に変わるほど。ランナーの皆さんずぶ濡れ。浅生地区のランナーも数名見つけました。「毎年走っています。バスに乗せられる事もあるけど、来年も走れたら嬉しいです。」のコメント。

ランナーの皆さん、役員の皆さん、ボランティアの皆さん、お疲れ様でした!!

